

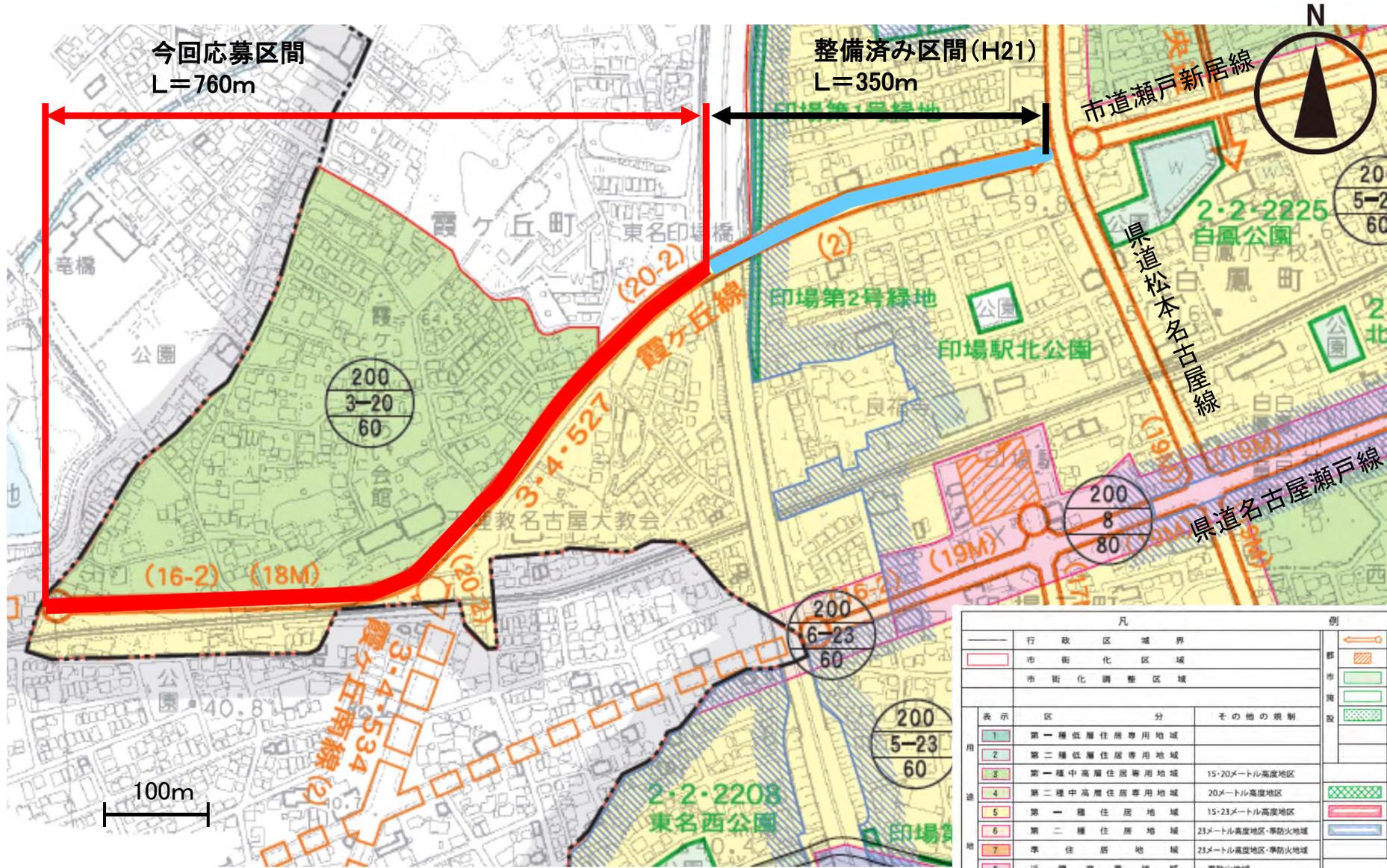
## 事業概要

応募No.	14		
事業主体	尾張旭市	実施都市名	尾張旭市
応募者名	愛知県 尾張旭市 都市整備部都市計画課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ3・4・527かすみがおかせんせいびじぎょう 都市計画道路3・4・527霞ヶ丘線整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>尾張旭市は名古屋市東部に位置しており、名古屋市等への東西軸の交通量が非常に多い状況にある。霞ヶ丘線は昭和40年に都市計画決定を行い、本市における重要な東西の主要幹線道路の1つとして位置づけられているが、本区間が未整備であるためミッシングリンクとなっていることから、周辺道路では慢性的な交通渋滞や渋滞を迂回する交通が発生している。そのため、渋滞の解消、緊急輸送ルート等のリダンダンシーの確保、地域住民の安全確保のため当該区間の早期整備が求められていた。これらに対処するため、本路線を整備することにより、交通の円滑化や安全な歩行者空間の確保を図った。</p>		
事業規模	事業延長	760m	
	幅員	16～20m	
	事業期間	平成14年度～平成30年度	
	事業費	3,022百万円	

# 事業位置図



都市計画図(用途地域図)



凡		例	
—	行政区区域界	—	都市計画道路
—	市街化区域	—	駅前交通広場
—	市街化調整区域	—	都市計画公園・緑地
表示	区分	その他の規制	都市計画公園・緑地
1	第一種低層住居専用地域		都市計画墓園
2	第二種低層住居専用地域		
3	第一種中高層住居専用地域	15・20メートル高度地区	
4	第二種中高層住居専用地域	20メートル高度地区	地区計画区域
5	第一種住居地域	15・23メートル高度地区	土地地区画整理事業区域
6	第二種住居地域	23メートル高度地区・準防火地域	土地地区画整理事業施行区域
7	準住居地域	23メートル高度地区・準防火地域	
8	近隣商業地域	準防火地域	
9	商業地域	準防火地域	
10	準工業地域		
11	工業地域		

注：都市計画道路太線は整備済箇所

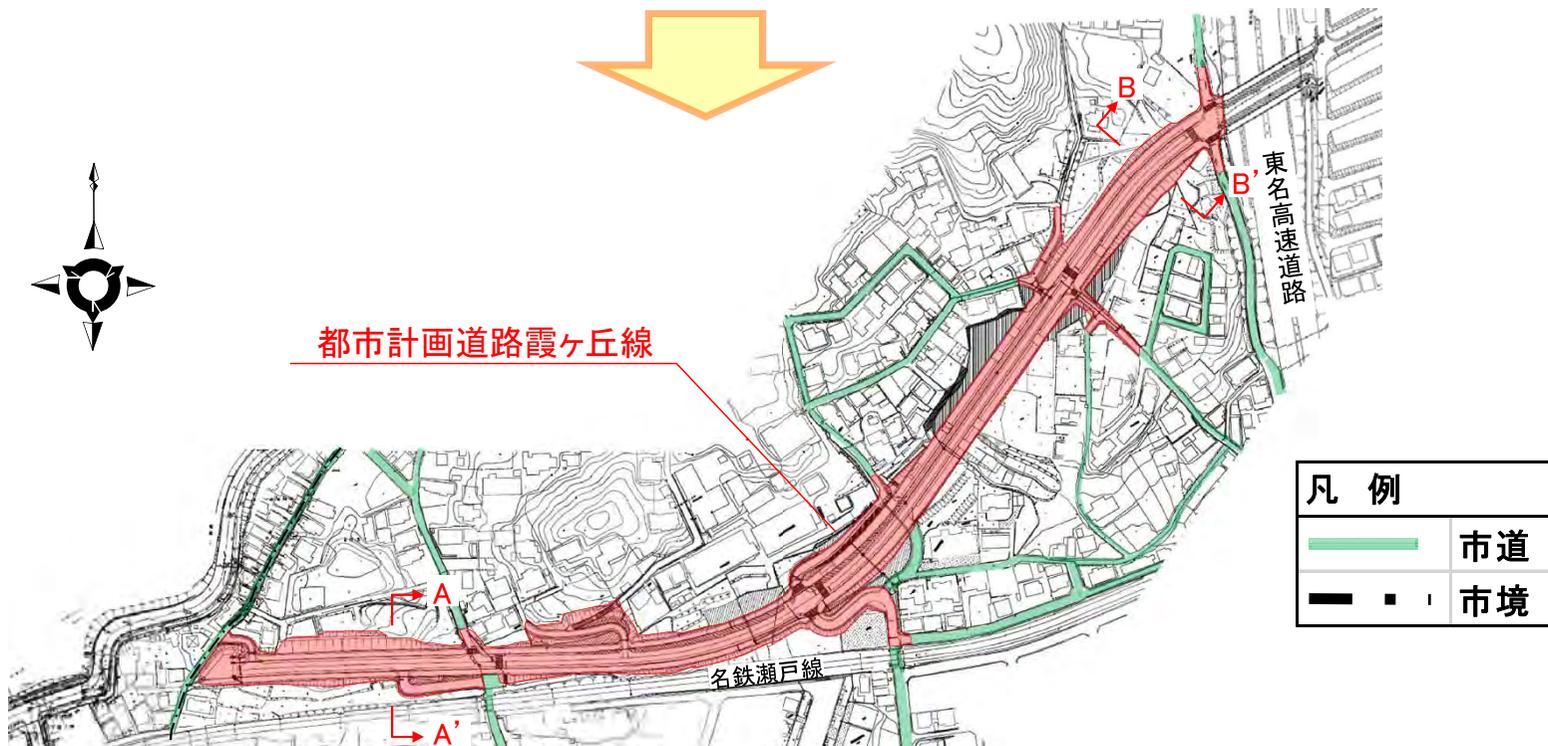
# 平面図

(雪ヶ丘線整備事業)

事業前

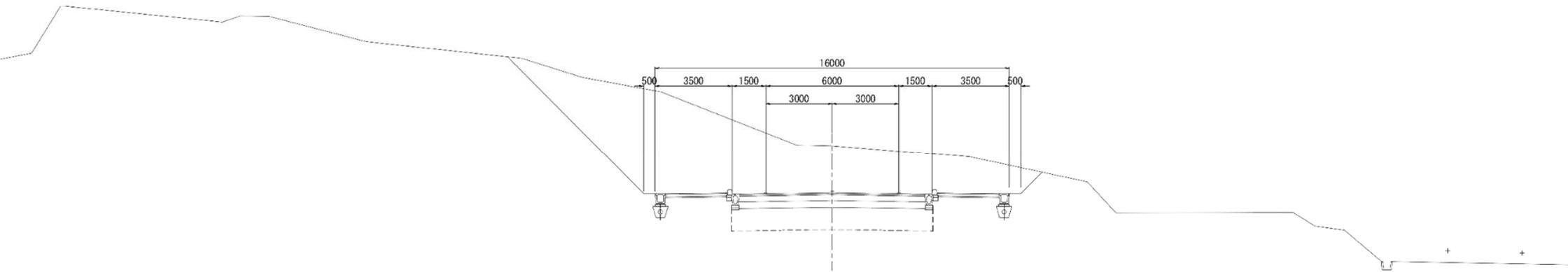


事業後



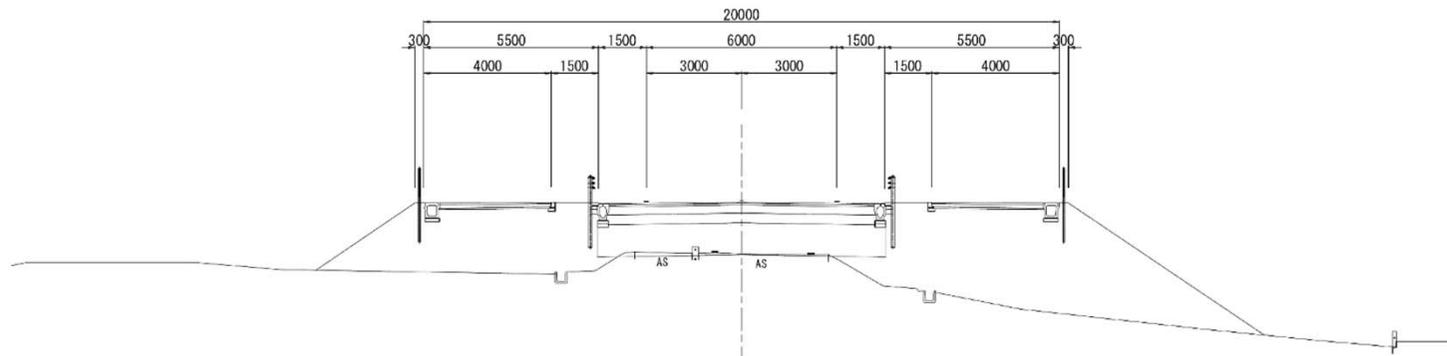
**道路幅員16m**

(A-A' 断面)

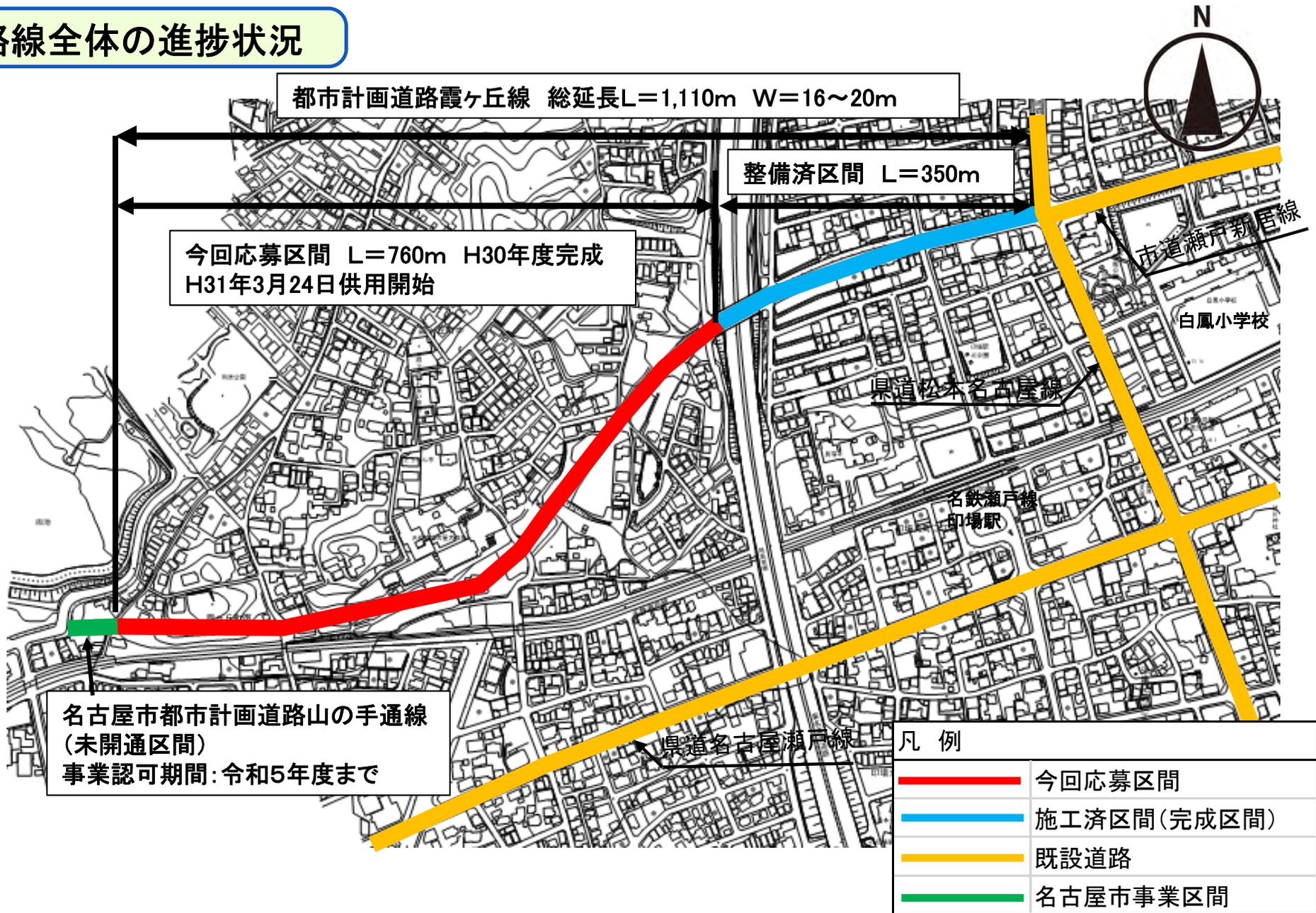


**道路幅員20m**

(B-B' 断面)



## 路線全体の進捗状況



## 事業前写真

①



平成29年9月撮影

②



平成29年9月撮影

## 事業後写真

(雪ヶ丘線整備事業)

①



平成31年3月撮影

②



平成31年3月撮影

## 事業前写真

③



平成29年9月撮影

④



平成29年9月撮影

## 事業後写真

(雪ヶ丘線整備事業)

③



平成31年3月撮影

④



平成31年3月撮影

# 事業効果アピール資料



## ■整備目標

**東西軸の主要幹線道路のミッシングリンクの解消**

## ■整備効果

### ①利便性の向上

名古屋都市圏への移動時間の短縮、慢性的な渋滞が発生している県道松本名古屋線や名古屋瀬戸線の交通量分散が期待できます。

### ②広域的なネットワークの構築

周辺で「守山スマートインターチェンジ」が整備され、名鉄瀬戸線立体交差事業による踏切解消が進められており、これらと合わせて広域ネットワークを構築することで、大規模災害時における広域的な避難・救援路としての機能を果たすことが期待できます。

### ③地域住民の安全確保

歩道整備により地域住民、特に通学路の安全が確保されました。

現在継続中事業

山の手通線  
+  
立体交差事業

両事業完了により  
効用発揮



## 苦勞や工夫等アピール資料

### ○住民で組織する「霞ヶ丘線委員会」の設立

#### ・ 設立目的

住民個々の意見・要望の集約や市との協議を通じて、事業に対する理解を深めていただき、地域に愛される道路にすることを目的として設立

#### ・ 委員会参加者

地元自治会役員が委員となり、委員会には地域住民（非自治会員含む）が広く参加  
また、行政は事業計画に対する理解を深めるため、整備内容や効果を説明し、積極的に委員会をサポートした。

#### ・ 活動内容

事業に関する情報共有や現地調査、  
地元目線の意見・要望を集約

#### ・ 霞ヶ丘線委員会実績

開催回数：9回（H28～30年度）

延べ参加者数：180人



## 苦労や工夫等アピール資料

### ・実施効果

委員会を通じて、地域の方々に事業に対する理解を深めていただくことで、円滑に事業を遂行することができた。

委員会を通じて供用後のまちづくりに関するご意見をいただく中で、急峻な地形におけるバイパス整備について、地域が分断されないよう地元の要望に応じた道路設計に苦労した。このことを踏まえ、交差点形状の計画を変更するなど南北通行の利便性を確保し、地域密着型の道路形態を計画に反映することができた。

平成31年3月24日には委員会とともに「開通式」を開催した。開通式の前には、委員会主催のウォーキング大会が催され、参加した多くの地域住民に、地域の声が反映された道路の完成を喜んでいただいた。

### ・今後について

委員会を通じていただいた貴重なご意見により、地域の実態に即した利用しやすい道路を作ることができた。

今後の維持管理についても、地域との連携を図り、地元の協力を得ながら適切に実施していきたい。

最後に、事業実施に際して、ひとかたならぬご協力をいただいた委員会及び地元の皆様に感謝を申し上げたい。



受賞歴・報道資料

テープカットをする森市長(右から3人目)ら。尾張旭市で



# 尾張旭 霞ヶ丘線が開通

尾張旭市が二〇〇二年から整備を進めてきた都市計画道路霞ヶ丘線の開通式が二十四日、同市霞ヶ丘町であつた。森和実市長や住民ら三十人が参加し、テープカットで開通を祝った。

霞ヶ丘線は同市北西部の霞ヶ丘町南から同町北にかけての市道七百六十号で、総事業費は二十億三千二百

万円。

今後、名古屋市側などの整備が進めば、瀬戸市から

尾張旭市を経て名古屋市を結ぶ主要な東西軸として、都市圏への移動時間の短縮や、渋滞地域の交通量分散などが期待される。

(吉本章紀)

中日新聞  
平成31年3月26日(月)